ARI
That We May Live Together
Asian Rural Institute
Rural Leaders Training Center
442-1 Tsukinukizawa, Nasushiobara,
Tochigi, 329-2703 Japan
Tel +81-287-36-3111 Fax +81-287-37-5833
学校法人 アジア学院
アジア農村指導者養成専門学校
〒329-2703
栃木県那須塩原市槻沢 442-1
Tel 0287-36-3111 Fax 0287-37-5833
50th Anniversary
Learning Together
for a Rural Future
Email info@ari.ac.jp
Website https://ari.ac.jp

# フランシス・クワミ・アヒアゾ（フランク）

## 持続可能な地域開発センター(CSC)

## ガーナ・ヴォルタ州ペキ

**民族 / 部族:** ガーニアン
**母語:** エウェ語
**宗教:** キリスト教
**職業:** 環境管理者、農場補佐

**仕事について：**

「共に働く仲間を鼓舞し、元気づけ、彼らのニーズと成長が何よりも最優先する方法を学びたいと思っています。そうすることで、より強く結束力のあるチームを作り、地元にポジティブな影響を与えることができると考えています。」 フランクはこのように、サーバントリーダーの資質を表現します。

フランクの故郷、ペキは、活気に満ちた結束の固いコミュニティです。伝統と発展が豊かに融合し、住民の連帯感と協調性が強いのが特徴です。農業の成功やコミュニティの中核を担うのは、人々の勤勉さや忍耐力で、次世代のための環境保護を目指した実践に力を入れています。しかし、土地の利用方法や不法侵入の問題から、対立が生じることもしばしばあります。このことは、隣人同士、また、より広い範囲でコミュニティ内の関係をこじらせてしまいます。フランクは住民の懸念に積極的に耳を傾け、意思決定の過程に参加してもらい、相手の知識と伝統を尊重する姿勢を示しながら、関わるようにしています。

アジア学院を卒業する頃には、持続可能な農業とコミュニティのリーダーシップに関する高度な知識と実践的な技術を身につけたいと考えています。フランクの目標は、継続的な学習と協調の文化を育みながら、食料安全保障と生活改善に貢献するインパクトのある事業を推進することにあります。

**送り出し団体について：**

持続可能な地域開発センター（CSC）は、ペキとその周辺地域のコミュニティで活動しており、土地の著しい荒廃に対処し、持続可能な開発を進めています。具体的には、持続・再生可能な農法を指導・支援することで、土地の保護と長期的な食糧安全保障の確保に貢献しています。フランクの帰国後は、森林再生活動を指揮し、堆肥処理施設の建設を計画し、地元の若者に持続可能な農法を教えてほしいと期待しています。

**農村リーダーたちについてもっと知りたい方はこちら：**

今年度の学生 - アジア学院 https://ari.ac.jp/thisyearsparticipants/